



福岡市セーリング連盟

【設立年月日】

1962（昭37）年 1月10日

【加盟年月日】

1962（昭37）年 1月25日

【役員】

会長 秋山 雄治
 副会長 山口 雅文
 理事長 岡村 勝美
 事務局 菅原 弘

【沿革】

福岡市セーリング連盟は福岡県ヨット連盟の福岡支部として1962（昭37）年1月に発足し、福岡市体育協会に加盟しました。

風光明媚な博多湾は、年中安定した風に恵まれ、ヨットレースには最適なコンディションを誇ります。交通アクセスもよく施設も充実し、今後も様々な伝説を刻んでいくことでしょう。

【2011年～主な表彰者・五輪出場選手】

2012年 ロンドン大会

田畑 和歌子（現・梶山） 470女子

2013年 11月

秋山雄治 旭日双光章受賞

2016年 リオデジャネイロ大会

土居 一斗 今村 公彦 470男子

2020年 東京大会

岡田 奎樹 外薊 潤平 470男子

飯束 潮吹 畑山 絵里 ナクラ



アメリカズカップレース風景

【現在の活動】

2016（平成28）年11月19日・20日、世界最高峰のヨットレース『アメリカズカップ』が博多湾で開催されました。

日本セーリング連盟から秋山雄治会長に要請があり、福岡県セーリング連盟および福岡市セーリング連盟が運営にあたりました。この大会には、防衛艇のアメリカに加え、イギリス、フランス、ニュージーランド、スウェーデン、そして日本からはソフトバンク・チーム・ジャパンが参戦しました。レース艇は艇長13.45m、マストの高さ21.5m、重さ1655kgのカタマラン（双胴艇）。マストとセールは一体化しており（カーボン製）、最大の特徴は、ダガーボード（水中翼・チタン製）で船体がフォイリング、つまり浮き上がり格段のスピードが生まれることです。特に第2レースでは、わが日本艇はスタートから好位置につけ、巧みなマーク回航に成功し、最後まで攻めのセーリングでトップ・フィニッシュ。博多湾が大いに盛り上がりました。



アメリカズカップ

■本連盟主催の大会・教室

- ・市民総合スポーツ大会・小戸カップ（クルーザークラス・ディンギークラス）
- ・小中学生クルーザー体験教室
- ・福岡ジュニアヨット選手権大会